

「五郷学習」

農業体験学習(稲刈り)

2018. 9. 3 (ヨシクマ新聞より)



【カマの使い方などを指導する大橋さん】 【挨拶する前川生徒会長】

この日は会員はじめ五郷小、中の全校児童生徒が参加。はじめに五郷中の前川秀也生徒会長が「上手に刈って、収穫祭で美味しいお米が使えるよう頑張ります」と挨拶し、五郷中の高田祐治校長も「5月に田植えを行った後、地域の方々が色々なお世話をしてくれて立派な稲に生長しました。感謝を込めて稲刈りしましょう」と呼びかけた。

熊野市五郷町の活性化を目的に「いふる郷創生実行委員会」(大橋秀行世話人)は3日、同町の水田で五郷中、小学校の子どもたちと稲刈り作業を行った。同委員会は五郷の紀の協力を得て、年度からJA三重南の有志で組織。一昨年度からJA三重南の有志で組織。一昨年度からJA三重南の有志で組織。一昨年度からJA三重南の有志で組織。

収穫の秋に感謝込め

五郷児童生徒が稲刈り体験



【作業に参加した児童生徒】



【稲刈りに励む子ども達】

この日収穫した米は学校での収穫祭や、9月16日の開催を予定しているいさと秋祭りの景品、婦人会の炊出しなどに利用されるという。

導。地域住民からの手ほどきを受け、小中学生が協力し合って黄金色に輝く稲穂を次々と刈り取っていった。また、コンバインによる収穫作業も見学した。



「ふるさと・五郷」にほこりを持ち、心豊かでたくましく生きる力を育むためにスタートした「五郷学習」の一環として、学校運営協議会のメンバーでもある、「ふるさと創生実行委員会」「五郷婦人会」の協力をえて、五郷小と五郷中で合同農業体験学習「稲刈り」を実施しました。五郷の豊かな自然にふれた1日でした。ご協力いただいた地域の皆さんや五郷の豊かな自然に感謝して12月には保護者や地域の皆さんを招いて「収穫祭」を行います。